

A vertical decorative image on the left side of the page. It features a blue and yellow color scheme with abstract digital patterns, including circuit-like lines, glowing points, and a person in a suit. The top part is blue with white and yellow accents, while the bottom part is yellow with blue accents.

2026年1月期第1四半期

決算補足説明資料

A vertical decorative image on the left side of the page, showing a person's hands holding a tablet device in front of a laptop. The image is overlaid with a blue tint and features abstract digital patterns.

2025年6月16日

アセンテック株式会社

東証スタンダード市場 証券コード:3565

INDEX

- 01 連結貸借対照表について
- 02 事業領域の変更について
- 03 営業外収益の発生に関するお知らせ
- 04 連結業績予想について

01

連結貸借対照表について

米国 Cloud Software Group との戦略的事業提携に基づく 資産および負債計上の経緯

経緯

2024年9月25日	Cloud Software Group,Inc.(CSG社)と、第三者割当増資をともなう投資契約及び戦略的パートナー契約を締結
2024年10月25日	資本業務提携に伴いCSG社より新株式の発行に係る払込完了
2024年11月26日	株式会社CXJを設立 仮想デスクトップ関連製品である Citrix 及び NetScaler の日本国内における事業拡大に向け、営業、マーケティング、技術支援を担当
2025年2月17日	株式会社CXJ の事業開始予定日である 2025年3月3日において 連結貸借対照表に約120億円の資産および負債計上に関するお知らせ

資産および負債計上に関する契約内容

- ◆ 日本国内における CSG 社の戦略的パートナーとして、国内企業向け Citrix 事業を担当し、得られる収益の対価として、販売期間の見込収益に合わせて、当該負債を四半期ごとに支払う内容となっています。
- ◆ 当該負債を支払スケジュールに応じて長期未払金または短期未払金に計上、ならびに、同額を当該資産として長期前払費用または短期前払費用に計上しております。
- ◆ 当該資産は、「得られる販売収益」や、「顧客への売上に対する原価」の性格を有しており、当該負債は当該資産の支払対価であります。

連結貸借対照表の増減分析 ①CSG社との契約に基づき、計上した資産および負債残高

(百万円)

	2025/1 期末	2026/1 Q1期末	前期末比
流動資産	8,349	19,566	+11,216
前払費用	30	3,731 ^{※1}	+3,701
固定資産	959	7,621	+6,661
長期前払費用	9	6,512 ^{※2}	+6,502
総資産合計	9,309	27,187	+17,877
流動負債	5,046	12,381	+7,335
未払金	95	1,464 ^{※3}	+1,369
固定負債	60	9,801	+9,740
長期未払金	30	9,734 ^{※4}	+9,703
負債合計	5,106	22,182	+17,076
純資産合計	4,202	5,004	+801
負債及び純資産合計	9,309	27,187	+17,877
自己資本比率(%)	45.1	18.4	▲26.7

※1 戦略的パートナー契約に基づき、1年以内に費用計上となるべきものであり、見込み販売収益に対応して、取り崩す資産
2026年1月期Q1期末残高**3,677百万円**

※2 前払費用の1年を超えた部分
2026年1月期Q1期末残高**6,487百万円**

※3 戦略的パートナー契約に基づき、1年以内に支払期限が到来するものであり、支払いに応じて減少していく負債
2026年1月期Q1期末残高**1,381百万円**

※4 未払金の1年を超えた部分
2026年1月期Q1期末残高**9,548百万円**

連結貸借対照表の増減分析 ②売上高の一部取引における純額処理に伴う影響

(百万円)

	2025/1 期末	2026/1 Q1期末	前期末比
流動資産	8,349	19,566	+11,216
売掛金	1,418	8,780 ^{※1}	+7,362
固定資産	959	7,621	+6,661
総資産合計	9,309	27,187	+17,877
流動負債	5,046	12,381	+7,335
買掛金	3,574	8,863 ^{※2}	+5,288
固定負債	60	9,801	+9,740
負債合計	5,106	22,182	+17,076
純資産合計	4,202	5,004	+801
負債及び純資産合計	9,309	27,187	+17,877

※1 売上の純額処理前の顧客への請求残高。

※2 売上原価の純額処理前の取引先からの請求残高。

	2026年1月期 Q1期末
売上高	6,252 ^{※3}
売上原価	5,202 ^{※4}
売上総利益	1,050

※3 収益認識の会計基準に基づき、株式会社CXJの一部取引を代理人取引として、売上高を純額(手数料相当額)にて計上しております。2026年1月期Q1においては**6,040百万円**純額処理。

※4 同額売上原価も純額処理しております。

02

事業領域の変更について

事業領域の変更について

変更の背景

- ◆ ワークスタイルとしてハイブリッドワークが定着し、引き続き仮想デスクトップの需要は堅調に推移すると予測しています。
一方で、クラウドサービスの普及に伴い、マルチクラウドとオンプレミスのハイブリッド化が進み、新たなサイバー攻撃のリスクが高まっています。これにより、従来と異なるセキュリティ対策の強化が求められ、新たなセキュリティシステムの需要が高まると予測しています。

事業領域の変更

- ◆ ゼロトラストセキュリティ事業領域を新設。
拡大するセキュリティ分野に向けて、自社製品である「SaaS Secure Client」と、新たなセキュリティソリューションである「Forcepoint」を中心に、セキュリティ製品を集約し、ゼロトラストセキュリティ事業の強化を図ります。
また、クラウドサービス事業領域は、仮想デスクトップ事業領域に集約します。

旧事業領域からの変更イメージ

事業領域 / 製品・サービス	ストック ビジネス	自社製品	自社 サービス
■ 仮想デスクトップ			
仮想化ソフトウェア(Citrix、Vmware等)			
シンクライアント端末(Atrust、Dell等)			
Resalio Lynxシリーズ	✓	✓	
プロフェッショナルサービス	✓		✓
■ クラウドインフラ			
リモートPCアレイ		✓	
サーバ(HPE、Dell、Lenovo等)			
フラッシュストレージ等(HPE-Nimble)			
ハイパーコンバージド製品(HPE、Dell、Nutanix)			
自営保守(リモートPCアレイ/Quantum等)	✓		✓
■ クラウドサービス			
Resalio DaaS SS	✓		✓
Citrix Cloud (CSP)	✓		
Google Cloud	✓		



事業領域 / 製品・サービス	ストック ビジネス	自社製品	自社 サービス
■ 仮想デスクトップ			
仮想化ソフトウェア(Citrix、Vmware等)			
シンクライアント端末(Atrust、Dell等)			
Resalio Lynxシリーズ(+Resalio DaaS SS)	✓	✓	
プロフェッショナルサービス	✓		✓
Citrix Cloud (CSP)	✓		
■ クラウドインフラ			
リモートPCアレイ		✓	
サーバ(HPE、Dell、Lenovo等)			
フラッシュストレージ等(HPE-Nimble)			
ハイパーコンバージド製品(HPE、Dell、Nutanix)			
自営保守(リモートPCアレイ/Quantum等)	✓		✓
■ (NEW!) ゼロトラストセキュリティ			
SaaS Secure Client(SSC)	✓		✓
numecent、HYCU、CROWDSTRIKE			
Forcepoint、STA、THALES	✓		

03

営業外収益の発生に関するお知らせ

営業外収益の発生に関するお知らせ

▶ 営業外収益(為替差益)の内容

- ◆ 当社は、外国為替相場の変動に伴い、2026年1月期第1四半期累計期間（2025年2月1日～2025年4月30日）において、為替差益350百万円を営業外収益として計上することとなりました。これは、主に、CSG社との戦略的パートナー契約に基づき計上した外貨建ての債務(未払金及び長期未払金)に対する四半期末時点での時価評価に伴う為替差益541百万円や、外貨建ての営業債務に係る外国為替相場の変動リスクに対するヘッジを目的とした為替予約の時価評価に伴う為替差損などを反映したことによるものです。

▶ 業績に与える影響

- ◆ 営業外収益(為替差益)の計上による業績への影響につきましては、本日発表の「2026年1月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

04 連結業績予想について

連結業績予想について

▶ 2026年1月期第2四半期(中間期)の業績予想に対する進捗率は下記のとおりです。

(百万円)

	2026/1 Q2予想	2026/1 Q1実績値	第2四半期予想 進捗率(%)	2026/1 通期予想
売上高(百万円)	8,124	6,252	77.0%	17,000
営業利益(百万円)	810	779	96.3%	1,730
経常利益(百万円)	810	1,142	141.0%	1,730
当期純利益(百万円)	556	791	142.4%	1,190
1株当たり当期純利益(円)	38.97	55.71	—	83.26

▶ 上期業績予想について

- ◆ 利益面については、CSG社との戦略的パートナー契約に基づき計上した未払金及び長期未払金について、第1四半期末時点での一過性の為替評価益が541百万円が発生したことや、第1四半期において、当初の予想より前倒しで売上計上となっている案件もあることなどにより、現時点の進捗率が100%を超過しているものの、次の四半期末の為替相場によっては、為替評価損が発生するなどの可能性も考慮し、現在の業績予想から変更はしておりません。
なお、今後、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

将来見通し等に関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

文中に記載している社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

